

## 巻立てコンクリートの充填性向上対策

日本橋梁建設土木施工管理技士会  
株式会社 釧路製作所  
工事グループ 現場代理人  
坂上 鋭一  
Eiichi Sakagami

### 1. はじめに

本橋梁は、平成16年度から着工開始している北海道横断自動車道（本別～釧路間）の白糠町庶路に位置している。同区間開通後は道央圏から道東圏を高速道路で結ばれ、地域の経済や生活等に大きな変化が期待される路線である。平成15年に同区間は新直轄方式に整備計画が変更され、国及び沿線自治体が建設費を負担し完成後、無料区間となる予定である。工事概要は下記に示す通りである。また、一般図を下記に示す（図-1）。

型式：鋼3径間連続合成鈹桁橋

橋長：123.0m

支間長：40.3m + 40.4m + 40.3m

幅員：11.2m

活荷重：B活荷重

主な工種：鋼橋架設・橋梁付属物

※巻立てコンクリート工（41m<sup>3</sup>）・仮設工等

### 2. 現場における問題点

本橋の横桁部材に覆われる巻立てコンクリートの打設条件は、下記のようなものがある。

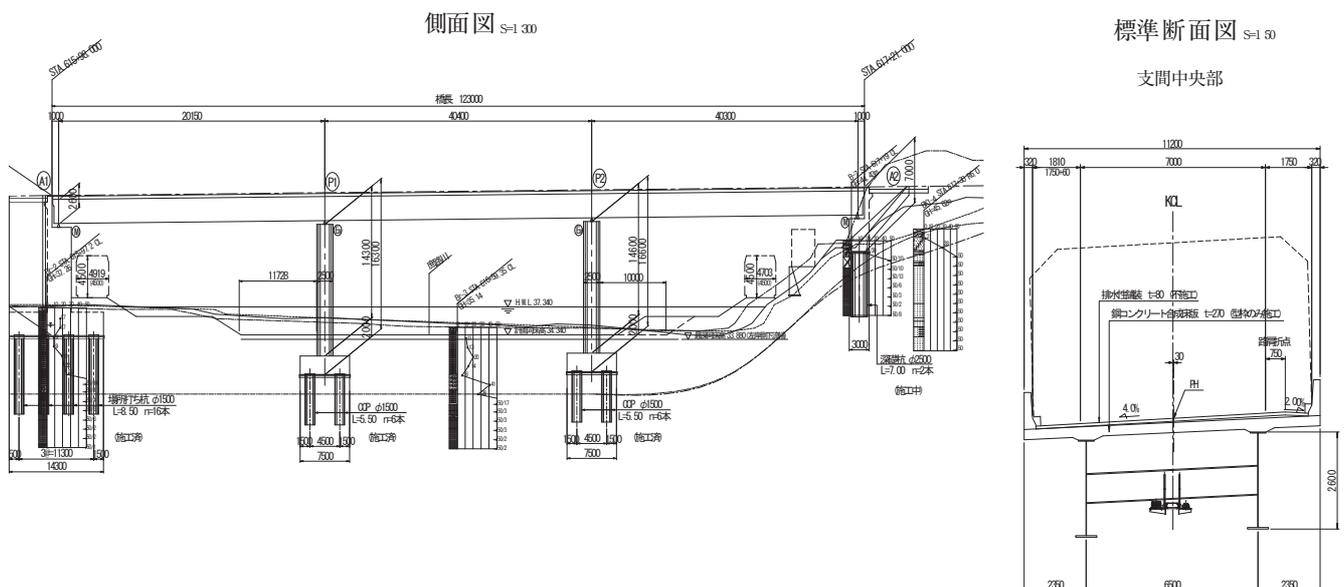


図-1 一般図





図-4 巻立てコンクリート完了

#### 4. おわりに

今回は、巻立てコンクリートの充填性を高めるため、高性能AE減水剤を使用して、良いコンクリートを打設することができた。しかし、今後はその地域の骨材事情により、高性能AE減水剤の方が有効な場合もあるので、生コン製造会社や施工業者及び発注者と協議して対策を講ずる必要があると再認識した。

今後は、この経験を生かし、さらなる技術力の向上を目指し、社会に貢献したいと思う。